

3) 拠点整備10年の進捗

⑤ 臨海部

複合的な市街地形成、環境・エネルギー機能集積、物流機能の向上が図られてきており、さらに、都心部との近接性や、大規模ロットの開発可能用地のストック活かしたまちづくりを展開

- 平成17年にOTS(大阪港トランスポートシステム)線の交通局による一体運用を開始。これにより、鉄道料金を値下げ
- 平成12年より夢洲コンテナターミナルを整備
- 平成21年に夢洲と咲洲を結ぶ夢咲トンネルが開通
- 平成23年、夢洲・咲洲地区が関西イノベーション国際戦略総合特区に指定
- 平成24年、咲洲地区内にて、特定都市再生緊急整備地域の指定

- 咲洲コスモスクエア地区の立地 (主なもの)
- 平成18年～ 住機能の立地
 - 平成19年 森ノ宮医療大学、金剛学園など
 - 平成20年 テクノアソシエ、いであなど
 - 平成21年 西部自動車機器 (拡張)
 - 平成24年 ベイサイドシティ コスモスクエア駅前
 - 平成25年 社会福祉法人健祥会
 - 平成26年 大阪インターナショナルデザイン専門学校
- ↓
- 森ノ宮医療大学2期計画 平成28.4月
 - nite (世界最大級の大型蓄電池の試験評価施設) などの建設



夕日の見える岸壁 13



複合施設(商業・業務・ホール等)



国際展示場



国際会議(サイボス2012)